

# 平成29年度 決算

# 法人町民税大幅減収でも 9億円の黒字に

**今** 定例会は、平成29年度の決算を審議するため、決算特別委員会を設置し、一般会計、特別会計、水道事業会計を慎重に審議した結果、原案どおり認定した。

**歳入** 町税は、納税義務者数の増加により、個人町民税や固定資産税などは増収したものの、法人町民税の一部国税化への影響が大きく、前年度比4億170万円の減収となった。

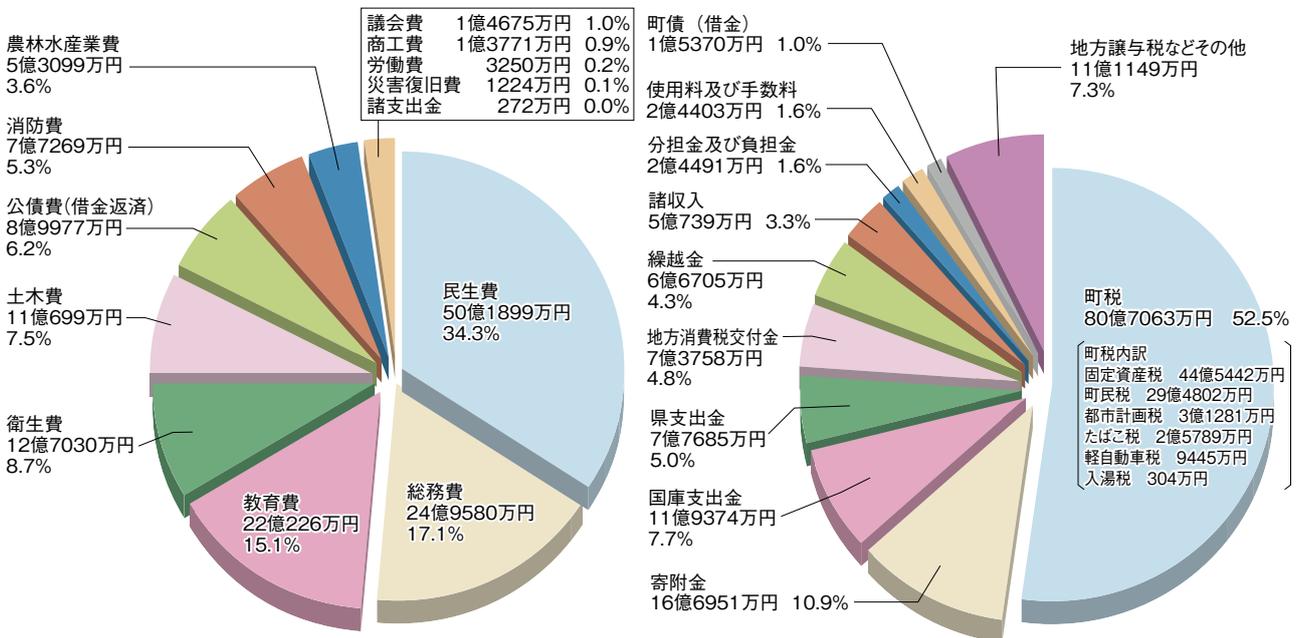
減収分を補つふるさと寄附金が大幅に増加し、一般会計歳入総額は、前年度比620万円の増額となった。

**歳出** 坂崎小学校校舎増築、豊坂ほっと館建設、町民会館照明・音響改修工事、幸田保育園改修工事、生活道路整備などの事業を実施して、一般会計歳出総額は前年度比7392万円の減額となった。

なお、平成29年度の決算総額は、一般会計（円グラフのとおり）と特別会計を合わせて、歳入227億6372万円、歳出217億9251万円、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は、9億58337万円の黒字となった。

## 一般会計の決算額

**歳出 146億2971万円**      **歳入 153億7688万円**



採決（反対2：賛成12で認定）

**平成29年度決算審査意見書**

監査委員 山下 力  
大嶽 弘

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正であると認められた。

平成29年度決算では、法人町民税が大幅に減少したが、ふるさと寄附金により歳入全体では前年度とほぼ同額を確保できた。財政指標の健全化比率等は健全な数値と判断することができた。

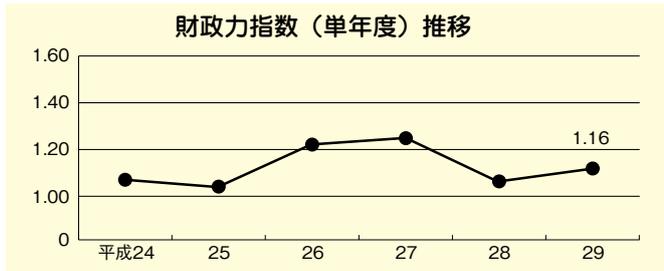
今後も本町の行財政運営は、社会保障関連経費等の増加により、予算を許さない状況が続くものと考えられる。

予算の執行にあたっては、絶えず成果の検証を行い、コスト意識を持ち、より良い行政サービスをより効果的に町民に提供できるよう、職員一丸となって職務に精励されることを望むものである。

## 2日間にわたり集中審議

### 主な質疑

- Q** 財源確保に法人町民税の適正課税を。
- Q** 標準課税の考えは変わらない。
- Q** 借地行政の考え方は。財政負担となっているので、買上げ、借地料の引き下げ、返却を申し入れていく。
- Q** 都市計画税の廃止を。目的税として現行制度へいく。
- Q** コンビニ納税の利用状況は。
- A** 住民税、軽自動車税の収納が増加。
- Q** 住宅資金利子補給制度の復活を。
- A** 町独自の制度を検討。ごみ袋の値下げを。
- A** 平成32年度に3分の1に引き下げを検討。
- Q** 子ども会への補助金見直しは。
- A** 基本額と一人当り300円に引き上げ、26団体の全てが増額される。
- Q** 生ごみの堆肥化拡大の考えは。
- A** 調査・研究を進めたい。



- Q** 災害備蓄品の充実に液体ミルクを。
- A** 考えていきたい。
- Q** えこたんバスの車椅子利用が2年間ゼロだが。
- A** リフト車が1台あり、気がねせずに利用できる。側溝の有蓋化を計画的に。
- A** 通学路を優先して工事を進めたい。
- Q** 学校トイレの洋式化は。小学校40・1%、中学校28・1%。



利用者に人気の豊坂ほっと館

- Q** いじめ・不登校対策を。スクールカウンセラーの充実と教育相談員の増員、家庭訪問などで対応。
- A** 3億9800万円
- Q** 災害対応特殊救急車購入
- A** 2705万円
- Q** 生活道路整備
- A** 8529万円
- Q** 豊坂ほっと館建設
- A** 1億7998万円
- Q** 坂崎小学校校舎増築
- A** 4093万円
- Q** 幸田保育園大規模改修
- A** 2212万円
- Q** 町民会館舞台照明・音響等改修
- A** 2212万円

### 主な事業成果

### 住民福祉の向上に更なる尽力を

前年度に比べ、法人町民税が大幅な減収となっており、今後も予測が難しい。国・県の補助金獲得努力などで、持続可能な財政運営を願う。

町民会館の音響・照明設備の修繕や豊坂ほっと館の建設など大型事業の実施や町民生活に直結する親切行政では、作業件数が33%増加し、評価する。

今後も、住民福祉の向上に更なる尽力を期待する。

足立初雄議員

**賛成**  
**反対**  
**討論**  
**反対**

### 借地しない、返す方針の確立を

伊藤宗次議員

法人町民税減収なら、全国の都市の50%以上が実施する適正課税を。都市計画税は2重課税だ。計画的に廃止を。健康の町宣言なら18歳まで医療費無料化を。ごみ袋代は県下で3番目に高い。製造原価まで値下げを。安定した人口増の町に定住化支援策は必要。制度創設は、3年遡り、対象に。

借地はしない。借地は返す方針の確立を。

### 子育て支援くらし応援の町政を

丸山千代子議員

町税の落ち込みを、ふるさと寄附金に依拠した財政運営ではなく、大企業に自分の負担を求めるべきだ。制限税率までの引き上げで財源確保を。子育て支援といひながら児童クラブ使用料を引き上げ。3歳未満児、児童クラブの待機児の解消を。高齢者のタクシー助成。コミュニケーションバスの拡充など国の悪政の防破提となり、子育て支援・福祉・くらし応援の町政を進めるべきだ。

### 特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名		歳入	歳出	採決
特別会計	土地取得	3790万円	1711万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	37億5647万円	36億1469万円	反対2：賛成12で認定
	後期高齢者医療	4億308万円	4億251万円	反対2：賛成12で認定
	介護保険	18億5727万円	18億1944万円	反対2：賛成12で認定
	幸田駅前土地区画整理事業	3億1714万円	3億1414万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業	3億4335万円	3億3374万円	反対2：賛成12で認定
	下水道事業	6億7162万円	6億6116万円	反対2：賛成12で認定
企業会計(税抜き)	水道事業会計	7億8169万円	6億2733万円	反対2：賛成12で認定
		1億276万円	2億7247万円	